

九州運輸局メールマガジン  
平成22年1月28日 第67号(発行日:毎週木曜日)  
~九州の明日を拓く運輸と観光~  
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

今週も九州運輸局メールマガジンをご覧ください。

#### 目次

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報(1月21日~1月27日掲載分)  
プレス発表  
入札・契約情報  
九州統計情報  
バス・タクシー・トラック  
九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会
- 2.九州運輸局セミナー  
自動車の点検
- 3.リレーコラム
- 4.編集長だより

#### 【九州運輸局ホームページアップ情報】(1月21日~1月27日掲載分)

##### プレス発表

##### 《地域交通》

- ・九州各地で『地域公共交通活性化・再生セミナー』を開催しました！！
- ~九州各地で8回開催~(1月22日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122_1.pdf)

##### 《観光》

- ・ピジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業で実施中又は近々実施予定の事業を紹介します！！(1月22日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122_2.pdf)

- ・「中国における訪日旅行市場の動向に関するセミナー」の開催について(1月22日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122\\_3.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122_3.pdf)

- ・宿泊旅行統計調査=九州版=

- ~平成21年7~9月の集計結果がまとまりました~(1月22日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122\\_4.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122_4.pdf)

- ・観光圏における滞在力向上に向けた取組み

- ~九州4観光圏における1、2、3月の事業を紹介~(1月22日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122\\_5.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122_5.pdf)

- ・平成22年度観光圏の公募を開始します(1月25日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100125.pdf>

##### 《自動車》

- ・年末年始における高速バスの輸送実績(1月22日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122\\_6.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100122_6.pdf)

##### 入札・契約情報

- ・物品役務入札公示

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)

##### 九州統計情報

- ・自動車保有車両数(平成21年12月末現在)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/syaryousuu2112.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryousuu2112.pdf)

・新規登録自動車数（平成21年12月分）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/shinkitouroku2112.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2112.pdf)

・燃料別等自動車保有台数（平成21年12月末現在）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/nenryoubetsu21\\_12.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu21_12.pdf)

バス・タクシー・トラック

・タクシーの特定地域協議会開催案内（北九州交通圏、筑豊交通圏、久留米市、大牟田市）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file18/fuk.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18/fuk.html)

九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会

・イベント情報（アンケート実施結果）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu\\_green/katudou/pdf/event/anketo2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/katudou/pdf/event/anketo2.pdf)

・メールマガジン36号

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu\\_green/mail/pdf/mail\\_magazine/No\\_36.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/mail/pdf/mail_magazine/No_36.pdf)

## 【九州運輸局セミナー】

### 自動車の点検

皆さんは自動車の点検をしていますか？

車検の時に車屋さんが点検してくれているから、日頃はしなくてもいいのでは？と、思っている方が多いのでは無いでしょうか？

実は、道路運送車両法によって「日常点検」と「定期点検」の2種類の点検を自動車のユーザーが行うように定められているのです。

「日常点検」とは、道路運送車両法では「～略～ 日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。」と定めています。具体的な点検の内容は、ブレーキペダルの踏みしろが適当でブレーキのききが十分であるか、タイヤの空気圧が適当であるか、エンジンオイルの量が適当であるか等で、ユーザーの方が運転席に座ったり、エンジンルームをのぞいたり、また、自動車の周りを回りながら自動車の状態を見ることによって容易に実施可能なものが中心となっています。これらの内容を自家用乗用車（いわゆる5ナンバーや3ナンバーの車）の場合、走行距離や運行時の状態などから判断した適切な時期に、例えば、行楽や帰省などの高速道路を利用した長距離走行の前や、洗車・給油を行うときなどを一つの目安に実施する必要があります。

「定期点検」は日常点検よりさらに踏み込んで、例えば自家用乗用車（いわゆる5ナンバーや3ナンバーの車）の場合、パワーステアリングのベルトの緩みや損傷がないか、ブレーキホースからのオイル漏れや損傷がないか、プロペラシャフトやドライブシャフトの連結部に緩みがないか等の最大56の点検項目を1年又は2年ごとに行う必要があります。

国土交通省では、「自動車の点検及び整備に関する手引き」を公表しております。これには一般的な自動車についてその標準的な使用を前提とした「日常点検」及び「定期点検」の実施方法並びにこれらの点検に伴い必要となる整備の実施方法の指針を示しています。ご興味のある方は国土交通省のホームページに掲載されていますので、御覧頂ければと思います。

九州管内では、適切な点検・整備を実施して頂くことの必要性を理解して頂くと共に、自動車の適切な保守管理を図る機会を広げるため「自動車点検整備運動」を展開し、また、自動車関係団体等の協力を得ながらマイカー点検教室を行っておりますので、是非皆さん参加されてみてはいかがでしょうか。

国土交通省ホームページへはこちらから

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090314\\_2.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090314_2.html)

(自動車技術安全部整備課)

## 【リレーコラム】

～長崎自慢～

自分は関東人であるが、長崎に赴任して1年半程経過したこともあり、このようなタイトルで書くこととした。但し、性格がひねくれているので内容も多少ひねくれているのはお許し頂きたい。

長崎県のHPを見ると、日本三大 ということまで長崎の15項目ほどが上げられている。私自身は3つの項目が長崎にあると思っているが、それは、三大夜景、三大中華街、そして三大横町である。3つめについては、どこかで読んだものに思案橋横町が日本三大横町であるとあり、そのことが以来、強く記憶に残っている。

さて、2番目の三大中華街であるが、長崎の中華街は、たいていの店でチャンポン、皿うどんが出されるし、味付けも甘いと言うことで他とはかなり違うであろう。長崎の食文化を言うとき、和華蘭(わからん)文化といった言葉が使われる。長崎は長く外国への限られた玄関口であったがために、中国やオランダなどの食文化が入り、あるいは融合して、卓袱(しっぽく)のような独特の料理が存在している。甘いのは、長崎から砂糖が輸入されたからということらしいが、関東人にとってはこの甘さはあまりとっつきやすいものではない(自分が左党だからかも知れないが)。

関東人の私として、長崎で自慢したいのは新鮮で豊でリーズナブルな海産物である。鰯などは大きくて、弾力があって旨みがあってしかも安い。17年の数字であるが、たい、まあじ、ぶり、とびうお、あまだい、養殖ふぐ等の漁獲量は長崎が全国一番となっている。量としてはそれ程でもないのだろうが、鰹も取れているし、五島などでは養殖のまぐろを出荷している。また、季節になれば牡蠣を焼いて豪快に食べるのも楽しい。

長崎の豊かな水産物の多くは大消費地に送って大いに“外貨”を稼いでもらえばいいのだが、長崎に来た観光客が思いもかけずおいしく新鮮なものがリーズナブルな値段で食することができれば、とても楽しいし、またこの地に来よう、友達にも勧めようと言うことになるだろう。

長崎が外国への玄関口であったのは昔の事である。江戸の昔の味や料理に拘泥せず、いいものはどんどん取り入れるのが和華蘭文化の本質ではないかとも思う。別の話になるが、今は梨と言えば幸水、豊水といったところである。自分が子供の頃の梨と言えば長十郎であったが今は八百屋で見ることはない。成人してある時、たまたま長十郎を食したが、堅くて甘くもなく、美味しいと思っていた梨がこんなだったかと驚いたことがある。長崎が誇る料理も固定する必要はなく、新たな味を創造していけばいいと思う。そのような動きは既にあるが、それだけでも美味しい長崎の豊富な食材はまだまだ使い度があるだろう。

(長崎運輸支局長 大島 寛)

## 【編集長だより】

先週に続き「寒」についてもう少し書きたいと思います。

小寒(1月5日頃)から「大寒」をはさんで立春(二月四日)までを「寒の内」といいます。この時期は一年を通じてもっとも空気中の雑菌が少ないことから、

昔から酒や味噌、醤油、凍り豆腐、寒天など寒気を利用した食物が仕込まれます。

また、この時期の水を「寒の水」と言い、雑菌が非常に少なく体にも良いとされてきました。この「寒の水」を使ったお酒は格別の味わいと言われていました。「杉玉」という物をご存知ですか。日本酒の造り酒屋の軒先に緑の杉玉を吊すことで、新酒が出来たことを知らせる役目をするものです。2月になるとあちらこちらの造り酒屋でこの「杉玉」が軒先に出てきます。九州でも各地で地域の特色のある地酒が作られています。「蔵開き」が全盛となります。おでかけになるときは、くれぐれも飲酒運転に注意してください。また、味噌などの発酵食品はおいしいばかりでなく、乳酸菌や納豆菌などの善玉菌が多く含まれています。これらの善玉菌は腸内環境を整える力があり、免疫力を高め、病気を予防するためにも大切な食品です。現代人の食生活には発酵食品が不足していると言われるます。昔から伝えられた先人達の知恵を大切にしたいものです。

九州運輸局では、今年度第4回定例記者会見を1月22日（金）に開催しました。会見資料は、本メールマガジン「プレス発表」の1月22日発表分をご覧ください。定例記者会見の次回開催は3月の予定です。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。  
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。  
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : [mm-kyushu@gst.mlit.go.jp](mailto:mm-kyushu@gst.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)